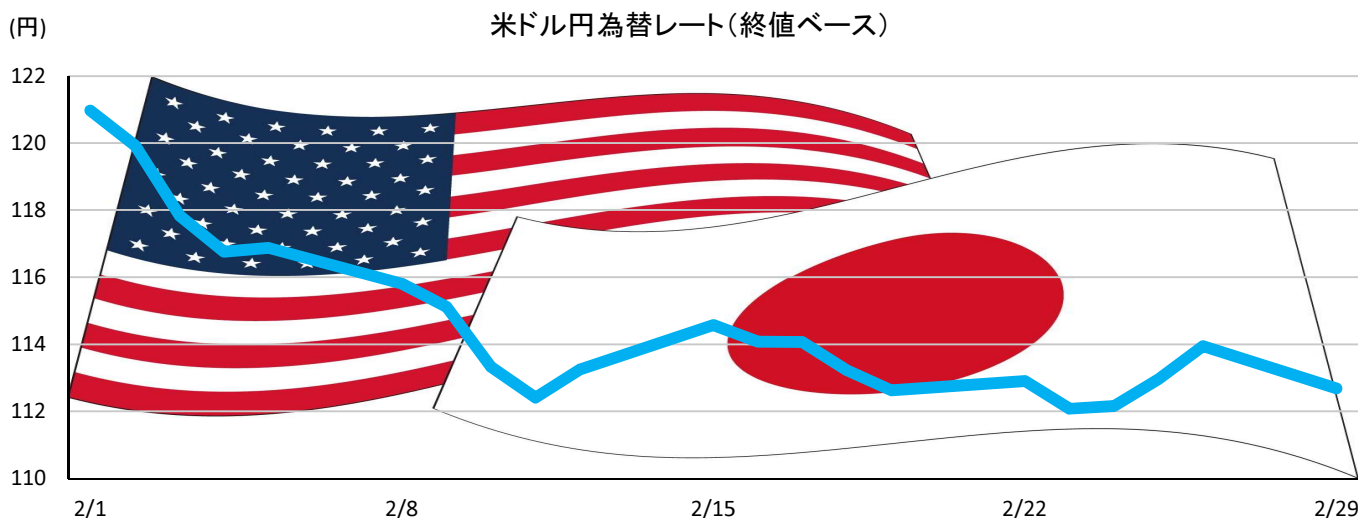


MARKET REVIEW

先月の振り返り：2016年2月のドル円相場は、111円後半～121円前半のレンジで推移した。1月29日に日銀がマイナス金利の導入を決定した。発表直後には円安と株高が進み、ドル円は121円後半まで記録した。しかし、その後は世界的なリスク回避の動きから、株式相場を中心に冴えない値動きが続いた。低水準を記録したISM非製造業景況感指数もあり、米国の利上げ観測が後退。ドル売りの動きが見られ、ドル円は117円台まで急落した。その後も、11日のイエレン議長による議会証言を材料にドル円は続落。米国の年内利上げ観測が一段と後退した結果、2月11日にドル円は、一時110円台を記録した。



EXTRA VISION

今後の展開：マイナス金利導入を決定した後、一気に円高と株安が進んだ。予想外のマイナス金利の発表を受け、かえって市場は混乱しており、セオリー的な円安予想に反して、円が急騰。市場では、一段と為替リスクが広く認識されている。心理的な節目として意識されていた115円を割り込んだため、水準に関しては、さらなる下方修正が必要かもしれない。110円を割り込む可能性も十分考えられる。3月は、ECBが追加緩和を行う可能性が高い一方、日銀は追加緩和を行うにしても、展望レポートが公表される4月の可能性が高いだろう。予想に反して、3月に日銀が追加緩和を行うならば、かえって失望を誘う可能性が高いかもしれない。その他の話題として、イギリスのEU離脱を問う国民投票の実施を控え、ポンド円相場も急落している。3月のドル円は、ドル円自体の動きももちろんだが、リスク回避的なクロス円の円高圧力にも十分な注意が必要になってくるだろう。

今月の主な経済指標

日付	時間	国	指標名	重要度
3/2 (水)	22 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆
3/4 (金)	22 : 30	US	雇用統計	☆☆☆
3/10 (木)	21 : 45	EU	ECB政策金利発表	☆☆☆
3/15 (火)	*	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆
3/15 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆
3/16 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆
3/17 (木)	3 : 00	US	FOMC政策金利発表	☆☆☆